

林業安全コラム

怖いのは 慣れた作業と その油断

◆ 林業労働災害の現状について

○発生状況

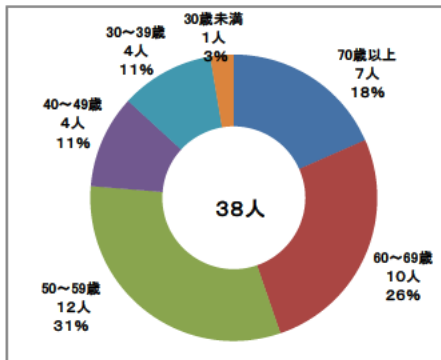
平成24年における死傷災害発生状況は、死傷者数が1,897人で前年より113人減、うち死亡者数が37人で前年比1人減となっています。(厚生労働省HP)

(単位：人)

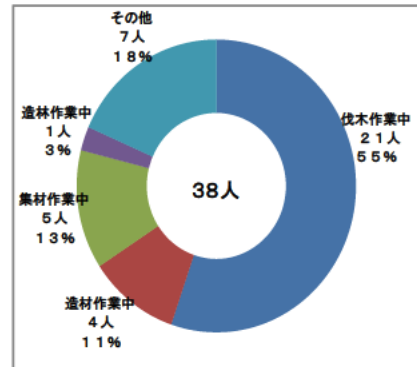
年		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
林業	死傷	1,972	2,080	2,073	2,128	2,149	2,010	1,897
	死亡	57	50	43	43	59	38	37

○年齢別・作業の起因別死亡災害発生状況

平成23年の林業における年齢別死亡災害発生状況(図1)は、50歳以上が29人で76%を占めており、作業の起因別の死亡災害(図2)では、伐木作業中の災害が21人で55%を占めています。(資料：厚生労働省「死亡災害報告」)



(図1) 年齢別死亡災害



(図2) 作業の起因別

伐木作業中の災害については、不適切なかかり木処理や伐倒方向の誤り、他者が伐倒した材による衝突など、待避不足や連絡合図の不徹底が原因と考えられる事案が多く見られます。このことから、かかり木処理における禁止事項を遵守するとともに、立木の樹高の1.5倍の距離に立ち入らないなどの基本的な事項の励行について、作業現場へのパトロールなどの機会を捉え指導いただきますようお願いいたします。

【かかり木処理における禁止事項】

かかられている木の伐倒



投げ倒し



元玉切り



◆ 林業労働災害の発生事例について

被災者は同僚4名で天然林の伐採・搬出作業を実施。一人で伐倒作業を行っていた被災者はナラ(直径36cm、樹高22m)の下敷きになっているのを発見された。被災状況から、ナラ伐倒の際、受け口が深く、追い口の位置が低すぎたため、伐倒方向が狂い斜面上方のブナにかかり木となり、かかられているブナを伐ろうとしたことから、かかっていたナラが落下して被災したものと推測される。

・全国安全週間準備月間 6月1日～6月30日
 ・危険物安全週間 6月2日～6月8日 ・虫歯予防デー 6月4日

林業労働対策室
 労働安全衛生班